

令和5年度 議会運営委員会管外視察 視察項目（案）

10月26日（木）8:30～9:30

大町市議会

<テーマ>委員会代表質問の実践

1. 委員会代表質問について

（背景）委員会代表質問については、前任期において可児市議会への視察を行ったことを契機に、議長から導入について諮問があり、これまでにPJを設置し検討を重ねてきているが、本年12月の議長への答申を控えて、県内で唯一導入済みの大町市議会の実情を聞く。

（視点）

- ・委員会代表質問導入の経緯
- ・実施に至る手順とルールづくり
- ・実施における課題、留意点

10月26日（金）15:00～17:30

会津若松市議会

<テーマ>会津若松市議会と飯田市議会の議会運営の実態についての意見交換

① 議会日程について

（背景）委員会審議の充実（集中）を図るために、決算審査が行われる9月定例会のみ、開会→委員会→一般質問の日程としているが、前任期の委員長会等において、再検討を求める声があった。過日、開催した正副委員長会においても、議会日程の見直しの是非が議論になっている。

（視点）

- ・委員会の開催時期、一般質問の受付・通告及び聞き取りの時期、議案の委員会付託と総括質疑のタイミング、会期日数など

② 通年議会について

（背景）前任期の議運において研究課題と捉え、四日市市議会の視察を行ったものの、課題等を共有するまでには至らなかった。通年的な議会活動となっている現状を踏まえ、先進的な事例を参考に、さらに研究を深める必要がある。

（視点）

- ・通年議会導入の必要性とその効果
- ・導入に伴う制度設計と法整備等
- ・通年議会導入に伴う一時不再議と専決の取り扱い
- ・通年議会における公務災害の領域と応召旅費
- ・通任期を意識した議会活動と実現するための制度設計

③ 議案と向き合うための準備について

(背景) 令和3年度以降、議案と向き合うための体制を整えようとしてきているが、果たして充分であるか。論点・争点抽出表の活用も不十分。

(視点)

- ・ 論点・争点の明確化の方法とその準備
- ・ 論点・争点を議員間で共有する場づくり
- ・ 議案の付託時期との関係性
- ・ 参考人招致と専門的知見の活用の実態
- ・ 議員間討議の常態化のルールづくりと進め方

④ 議会活動の市民への周知について

(背景) 議会の動きが市民に充分には伝わらない現状に鑑み、有効な手段を研究する必要がある。

(視点)

- ・ 議会白書作成に至った背景
- ・ 議会白書作成のプロセスと担当者、関係する経費等
- ・ SNSの利活用
- ・ 市民モニター制度との関係性

⑤ 意見交換会、交流会 18:30～

10月27日(金) 10:30～12:00

新潟市議会

<テーマ>主権者教育の実践

1. 中学生・高校生を対象とした主権者教育について

(背景) 低投票率などを背景とした、政治に対する関心を高めるための既存の主権者教育が、あらためて問い直される時期にきている。選挙権年齢の引き下げを受けて、議会として主権者教育にどう取り組む必要があるかを考える。

(視点)

- ・ 実施状況とその効果
- ・ なぜ、中学生か
- ・ 課題と留意点